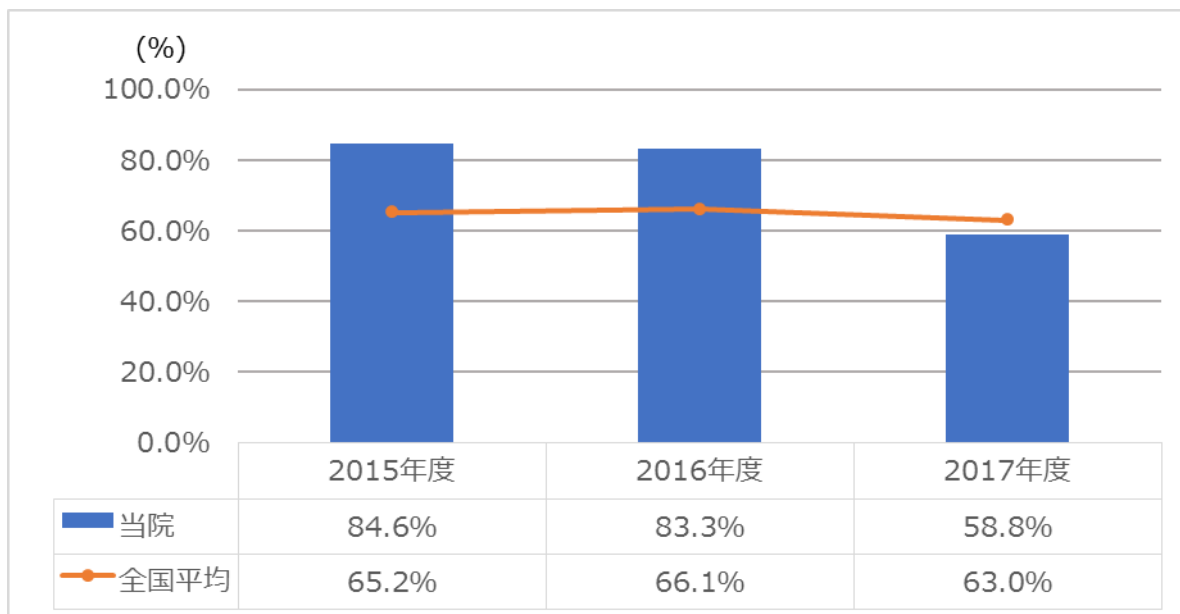


指標 1 4 腫瘍径 2cm 以下の StageI 浸潤性乳がんに対する乳房温存手術割合



<定義>

分子	分母のうち、乳房温存手術が実施された症例数
分母	腫瘍径 2cm 以下の Stage I 乳がん(初発)で入院して手術を施行した症例数
期間	2015 年度～2017 年度（1 年毎に集計）
対象	上記期間の退院患者
値の解釈	高い方が望ましい

<解説>

乳房温存療法は Stage I、II の浸潤性乳癌の局所療法として強く勧められる。そのためには、十分な切除断端を確保するための工夫が必要である。

※ 本データは厚生労働省提出用の D P C データを基に作成されています。また、全国平均の値については、当院が参加している「医療の質と経済性に関する実態調査【京都大学大学院 QIP 事業】」における「医療の質の指標」の計測結果（事業に参加する全国の病院の平均値）を用いています。

【参考 URL】

<http://www.kch.kagoshima.jp/about/qip.html>（当院の QIP 参加について）

<http://med-econ.umin.ac.jp/QIP/CI.html>（QIP における計測結果）